

各位

2007年3月22日

エーザイ株式会社

エーザイ・コーポレーション・オブ・ノースアメリカ社

モルフォテック社

米国・バイオベンチャー、モルフォテック社を買収  
エーザイの抗体医薬参入に向けたドラマティック リープ

エーザイ株式会社（本社：東京都、社長：内藤晴夫、以下、エーザイ）と米州統括会社エーザイ・コーポレーション・オブ・ノースアメリカ（本社：ニュージャージー州、社長：清水初、以下、ECA）および米国モルフォテック社（Morphotek<sup>®</sup> Inc.、本社：ペンシルバニア州、社長：ニコラス・ニコライデス、以下、モルフォテック社）はこのたび、ECAがモルフォテック社を買収する最終契約の締結を発表しました。本契約における買収価額は325百万ドル（純現預金差し引き後）となります。

モルフォテック社は、抗体医薬の研究開発を専門とするバイオベンチャー企業で、独自のヒト抗体技術「Human MORPHODOMA<sup>®</sup>（ヒューマン・モルフォドーマ）」および「Libradoma<sup>™</sup>（ライブラドーマ）」を使用し、各種がん、関節リウマチ、感染症などの疾患に対する抗体治療薬の開発に取り組んでいます。現在、同社のパイプライン中の2品目がそれぞれ卵巣がんと膵臓がんを対象とした臨床試験に入っているほか、前臨床段階にある候補品目を複数保有しています。

エーザイは、がん領域を第V期中期戦略計画「ドラマティック リープ プラン」において最重点領域と位置づけており、現在、低分子化合物の抗がん剤開発に向けてグローバルな研究開発に取り組んでいます。今回の契約により、エーザイはバイオロジクス分野への本格的な参入を果たすこととなり、モルフォテック社の持つユニークな抗体技術を活用し、当社のがんに対する抗体治療薬創出の充実をはかることとなります。これにより、低分子抗がん剤の開発と合わせて、がん患者様の多面的なニーズに対応することが可能となります。

エーザイ社長内藤晴夫は、「当社は、抗体治療薬研究におけるニコライデス氏の革新的で大胆なアプローチを高く評価しています。同氏のこの領域における貢献は極めて大きいものがあります。当社は、モルフォテック社の有する独自の技術および有望な抗体群と、当社の研究開発体制、インフラストラクチャーとの融合により、世界のがん患者様のニーズの充足に、より一層貢献してまいります。また、モルフォテック社の充実したパイプライン、抗体創出基盤、優秀な人材は、当社のバイオロジクスの研究開発活動において中核的存在となります」と述べています。

モルフォテック社社長ニコラス・ニコライデスは、「エーザイの豊富な知的、経営的資源は当社の抗体治療薬開発を加速させ、また、当社の共同研究ネットワークやエーザイが探索したターゲットに対応する臨床化合物の開発を進展させることができます」と述べています。また、モルフォテック社の会長でフォワード・ベンチャーの経営パー

トナーでもあるアイバー・ロイストンは、「エーザイ・グループに加わることによって、難病治療および世界の人々の健康のため、革新的な免疫治療薬開発におけるグローバル・リーダーを目指す、というモルフォテック社の創業精神に向かって前進できることは、当社にとって素晴らしいことです」と述べています。

エーザイは、画期的新薬の創出を目指し、日米欧の3極体制からなるグローバルな探索・研究開発活動を推進しています。エーザイの探索研究施設であるボストン研究所(マサチューセッツ州アンドーバー)や臨床研究会社のエーザイ・メディカル・リサーチ・インク(ニュージャージー州リッジフィールドパーク)および製剤研究所(ノースカロライナ州リサーチ・トライアングル・パーク)にモルフォテック社が加わることにより、エーザイの米国における研究開発機能はさらに強化されます。

本契約の締結について、エーザイ社長内藤晴夫は、「当社はモルフォテック社をエーザイ・ネットワークの一員として歓迎します。また今後も同社の独自性を尊重し、当社の既存の研究機能とのコラボレーションを推進していきます」と述べています。

エーザイは、2006年10月に米国・ライガンド社との抗がん剤4品目の製品買収および同社がん領域スペシャリストの移籍を実施するなど、自社開発や製品買収およびライセンス契約などによる抗がん剤上市に向けた研究開発および販売体制整備を進めてまいりました。モルフォテック社の買収は、エーザイのがん領域の研究開発や事業展開をさらに強化するものです。

本契約はすでにE C Aの取締役会で承認されており、米国独占禁止法上の審査の終了および他の移管条件が整い次第、発効します。現在、契約発効は2007年度第1四半期を予測しています。

なお、本案件に関するエーザイのアドバイザーは、三菱UFJ証券株式会社ならびにMontgomery & Co. LLC(財務面)、Sullivan & Cromwell LLP(法務面)が担当しています。モルフォテック社のアドバイザーはLehman Brothers Inc(財務面)およびCozen O'Conner LLP(法務面)が担当しています。

以上

[参考資料として、エーザイ株式会社、エーザイ・コーポレーション・オブ・ノースアメリカ社、モルフォテック社の会社概要、モルフォテック社のパイプライン、エーザイの抗がん剤パイプライン、モルフォテック社の技術基盤の概要を添付しています]

本件に関する問い合わせ先		
エーザイ株式会社 コーポレート コミュニケーション部 TEL: 03-3817-5120	Eisai Inc. Attn: Cathy Pollini, Corporate Planning and Communications エーザイ・インク 担当: キャシー・ポリーニ TEL: (1) 201-746-2052 cathy_pollini@eisai.com	Morphotek Inc. Nicholas Nocolaides, President & CEO モルフォテック社 社長: ニコラス・ニコライダス TEL: (1) 610-423-6100 nicolaides@morphotek.com

1. エーザイ株式会社について

エーザイ株式会社は、研究開発を基盤とするヒューマン・ヘルスケア企業で、世界を舞台に研究・製品の開発・販売活動を行っています。エーザイは神経、精神薬を含む総合的神経領域、消化器領域、支援治療を含むがん治療領域の3つの治療領域に活動を集中し、世界的な研究、生産、販売拠点を通じて、世界中の様々なヘルスケア・システムに積極的に参画しています。エーザイは世界で9,000名以上の従業員を擁し、2006年度のグループの売上高は6,680億円を見込んでいます。そのうち、グループセールスの50%以上は海外からもたらされています。

2. エーザイ・コーポレーション・オブ・ノースアメリカ社について

ECAはエーザイの100%子会社であり、北米における子会社の事業活動を支援しています。子会社には、強力な有機合成の技術基盤による創薬活動を行っているボストン研究所、臨床開発を行うエーザイ・メディカル・リサーチ・インク、製造およびマーケティング・販売機能を有するエーザイ・インク、医薬品製造用機械のマーケティング・メンテナンスを行うエーザイ・マシナリー・USA・インクの4社となります。

3. モルフォテック社について

モルフォテック社は、2000年に設立されたバイオベンチャー企業です。独自のヒト抗体技術「Human MORPHODOMA®」および「Libradoma™」を使用し、がん、炎症性疾患、感染症などの治療に使われるモノクローナル抗体(mAbs)開発を専門としています。本社は米国・ペンシルバニア州エクストン(フィラデルフィア)にあり、従業員数は45人です。モルフォテック社の最新の開発品「MORAb-003」および「MORAb-009」はすでに臨床試験に入っており(「MORAb-003」は卵巣がんを対象としたフェーズI/II、「MORAb-009」は膵臓がんを対象としたフェーズIが進行中)このほかにもIND準備中の開発品も複数保有しています。また今日までに、世界有数の研究所やバイオフーマがパートナーとして、モルフォテック社の研究に参画しています。モルフォテック社に関する詳細は、[www.morphotek.com](http://www.morphotek.com)をご覧ください。

4. モルフォテック社のパイプライン

臨床ステージ	製品名 開発品コード	概要・作用メカニズム	対象疾患
フェーズII	MORAb-003	ヒトIgG1抗体	卵巣がん
フェーズI	MORAb-009	IgG1抗体	膵臓/肺がん
IND準備中	MORAb-004	ヒト IgG1抗体	メラノーマ/ 血管新生を伴う疾患
IND準備中	MORAb-022	完全ヒト IgG1モノクローナル抗体	関節リウマチ
前臨床	MORAb-028	完全ヒト IgMモノクローナル抗体	転移性メラノーマ
前臨床	MORAb-047	治療用抗体	感染症
前臨床	MORAb-048	治療用抗体	感染症

## 5. エーザイの抗がん剤パイプライン

開発ステージ	製品名 開発品コード	概要・作用メカニズム	対象がん
サブパートH申請準備中	E7389	微小管伸長阻害	乳がん、非小細胞肺がん、 前立腺がん、卵巣がん、 肉腫
フェーズ	E7070	細胞周期G1期標的	小細胞肺がん
フェーズ	E7820	血管新生阻害	各種がん
フェーズ	E7080	血管新生阻害	各種がん
フェーズ	E7974	ヘミアステリンタイプチューブリン重合阻害	各種がん
フェーズ 準備中	E7107	微生物代謝産物由来	各種がん

## 6. モルフォテック社の主な技術基盤について

完全ヒトモノクローナル抗体産生と最適化技術 (Human MORPHODOMA<sup>®</sup>, Libradoma<sup>™</sup>)

Human MORPHODOMA<sup>®</sup> (ヒューマン・モルフォドーマ)

Human MORPHODOMA<sup>®</sup>技術は、完全ヒトモノクローナル抗体を産生することができる抗体創出基盤です。さらに、モルフォテック社の独占技術およびノウハウにより、細胞による抗体力価の最大化、抗体のクラススイッチ、抗体の抗原への親和性の向上が可能となります。

Libradoma<sup>™</sup> (ライブラドーマ)

Libradoma<sup>™</sup>技術は、Human MORPHODOMA<sup>®</sup>技術およびモルフォテック社独自の技術を用いて、数千種のハイブリドーマ細胞のライブラリを構築します。その後、ハイブリドーマ細胞から、ハイスループット・ロボットを用いて、望ましい親和性プロファイルをもった抗体を産生する細胞株を速やかに選択します。